



防衛省に残る 陸軍士官学校遺構調査

日本戦跡協会
2023年11月17日

今回の現地調査

2023年11月防衛省の協力を得て、東京の市ヶ谷にある防衛省敷地内メモリアルゾーンに残る構造物を調査取材しました。現地調査の結果、陸軍士官学校の観測所と推定され、木製と思われる扉、全面扉、扉を開閉するためのベアリング等残っており、状態は良好です。また、表面のモルタルが剥離した箇所からは、防湿の為と思われるコールタールの残存を確認しました。

本演習砲台観測所についてインターネットで、市ヶ谷台で終戦時に演習砲台前で割腹自決をした記述^{【1】}や、謎の構造物とした記事^{【2】}はあるものの、演習砲台とした記録はなく、防衛省としても記録は残っておらず、不明とされていました。

そのため日本戦跡協会で調査したところ、国会図書館資料^{【3】}に陸軍士官学校の地図に演習砲台と記載されており、あわせて現地調査したところ演習砲台観測所の遺構として現況を把握することができました。演習砲台の詳細調査は、今後の課題とします。防衛省のみなさまのご協力ありがとうございました。

【1】銀座1丁目新聞 安全地帯（576）権現山物語 敗戦時の先輩たちの自決その2信濃 太郎

<https://ginnews.whoselab.com/180620/safe.htm>

【2】近代史跡・戦跡紀行～慰霊巡拝 市ヶ谷台メモリアルゾーン（防衛省）

<https://senseki-kikou.net/?p=36952>

【3】写真の中の明治・大正 掲載資料：陸軍士官学校一覧 刊行年：明治37(1904) 国立国会図書館

<https://www.ndl.go.jp/scenery/data/draw/shikangako.html>

陸軍士官学校一覽 刊行年： 明治37(1904) 国立国会図書館蔵

